



水防団員募集集中!

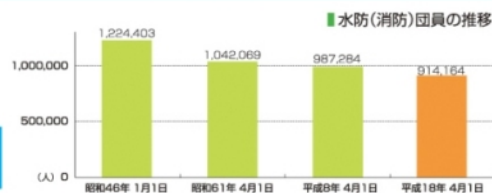
みんなの地域をみんなで守る!

水害を未然に防止し、被害を最小限に食い止める、私たちの生命や財産を守るため貴重な役割を果たすのが**水防(消防)団**です。一人ひとりが力を合わせてこそ水防は成り立つのです。現在水防(消防)団員は、減少、高齢化が進んでおり、水防活動の充実を図るためにも是非ともあなたの力が必要なのです。水防(消防)団員は、非常勤の地方公務員という身分を有しており、市町村等で手当等が支給されます。詳しく知りたい方は居住する市町村等にお問い合わせください。

水防(消防)団員の推移

H8～H18の10年間で、**約7万人の水防(消防)団員**の人員が**減少**しています。

現在、全国で約 **91** 万人の団員が各地の水害で水防活動に従事しています!



水防協力団体になりませんか。

水防協力団体は公益法人・NPO法人からの申請により、市町村などが指定し水防(消防)団が行う水防活動に協力したり、水防に関する情報提供、収集、調査研究及び地域への普及などを行っています。

水防協力団体として協力していただける公益法人・NPO法人をお待ちしております。

お問い合わせは地元市町村等までお願いします。

水防訓練の支援を行います。

水防工法に関する技術指導、水防に関する講習、水防新技術導入に関するアドバイス等を必要とされている団体に水防専門家が出席講座を行います。

●水防専門家とは…

水防工法等について水防団等に対して指導を行っている方(水防団・消防団のOB、国土交通省OB、都道府県OB)で構成されています。

(お問い合わせは、(社)全国防災協会までお願いします。)

いざ!

という時のために…

水害から身を守っていくためには、一人ひとりが水害に対して関心を持ち、いざという時に備えて、日頃から準備していることが大切です。私たちにできることから始めましょう。

日頃から気象情報や河川情報に関心を持ちましょう。



台風時や集中豪雨時はもちろん、日頃からテレビやラジオなどで天気予報を確認して気象の変化に関心を持ちましょう。また、国土交通省や地元の役所から出される河川の水位情報や避難情報にも注意しましょう。

国土交通省ではインターネット・ポータルでも水害の情報を提供しています。
[モード版] <http://www.bosaijoho.go.jp/i-index.html>
インターネット版 <http://www.bosaijoho.go.jp/>

避難場所、避難経路を確認しましょう。



住民の皆さんが災害時において速やかに避難できるように、浸水想定区域や避難場所などを分かりやすく示した「洪水ハザードマップ」の整備などが全国の市町村で進められています。あらかじめ避難場所などを確認し、避難勧告が出されたら直ちに避難をしましょう。避難時にはお年寄りや女性、子供を優先的に避難させてください。また、家族が離れているときの集合場所や安全の確認ができる方法も決めておきましょう。

緊急時の携行品をひとつにまとめて準備しておきましょう。



緊急時に備えて、貴重品、洋服や下着、非常用食品などをまとめて用意しておきましょう。停電に備えて、懐中電灯やラジオの準備も大切です。荷物は避難の邪魔にならず、持ち出しやすいように必要最小限にまとめましょう。

水防月間のイベントに参加しましょう!

水防月間のイベントは水防活動をみなさんに理解していただくため、様々なイベントによるPR活動を全国各地で開催しています。皆さんの積極的な参加、見学を心よりお待ちしております。



■平成19年度水防演習実施予定

演習名	実施日	実施場所
淀川水防・大阪府地域防災総合演習	5月13日(日)	淀川(左岸):大阪市旭区太子橋1丁目地先
遠賀川水防演習	5月13日(日)	遠賀川(右岸):福岡県中間市中鶴地先
利根川水系連合水防演習	5月19日(土)	利根川(右岸):埼玉県熊谷市葛和田地先
土器川水防演習	5月20日(日)	土器川(左岸):香川県丸亀市垂水町地先
荒川水防演習	5月26日(土)	荒川(右岸):新潟県岩船郡神林村平林地先
安倍川連合水防演習・複合型災害防災実動訓練	5月27日(日)	安倍川(左岸):静岡県静岡市葵区与一6丁目地先
北上川下流水防演習	6月2日(土)	北上川(左岸):宮城県石巻市成田地先
吉井川水防演習	6月3日(日)	吉井川(左岸):岡山県瀬戸内市邑久町豆田地先
剣路川水防公開演習	6月16日(土)	剣路川(左岸):川上郡標茶町ルルラン133番地先

国土交通省河川局HP <http://www.mlit.go.jp/river/>



水防月間

平成19年5月1日(火)～5月31日(木)

北海道は平成19年6月1日(金)～6月30日(土)

主催/国土交通省、内閣府、都道府県、水防管理団体(市町村等)
後援/防衛省、警察庁、総務省消防庁、全国知事会、全国市長会、全国町村会、日本放送協会、(社)日本新聞協会、(社)日本民間放送連盟、日本赤十字社
協賛/全国水防管理団体連合会、(社)日本河川協会、全国治水期成同盟会連合会、(社)建設広報協議会、(社)全国海岸協会、(社)全国治水砂防協会、(社)全国防災協会、(社)全国土木コンクリートブロック協会、(社)ダム・施設技術協会、(社)河川コンプレックス技術協会、(社)雨水貯留浸透技術協会、(財)河川環境管理財団、(財)河川情報センター、(財)国土技術研究センター、(財)ダム技術センター、(財)ダム水源地環境整備センター、(財)リバーフロント整備センター、全国建設弘済協会

今年の水防月間が制定されて20周年です